

# 謹賀新年



枕崎市長  
前田 祝成

12月9日 牧園(地域おこし協力隊 中村りんね撮影)

新年明けまして  
おめでとうございませす

令和七年(二〇二五年)が  
いい年でありますように  
皆さまのご健勝、ご多幸、  
ご活躍を心からお祈りします

市民の皆さんの  
笑顔があふれる一年に。

新年あけましておめでとうござ  
います。すこやかに新春をお迎え  
のことが喜び申し上げます。今  
年が皆さんにとって良き年になる  
よう、心からお祈りいたします。

昨年の我が国は、たいへんな激  
動の一年だったように思います。  
元日には能登半島で大地震が発生  
し、その翌日は羽田空港で航空機  
と自衛隊機が衝突する事故が発  
生、年明けから不安の中のスタ  
ートとなりました。その後も、日  
向灘沖でマグニチュード7を超す  
地震が発生して、初めて南海トラ  
フ地震臨時情報(大津波注意)が発  
表されました。秋には能登半島を

今度は大雨が襲い、大きな水害が  
発生しました。自然災害の多い一  
年でしたが、私たちの枕崎市も8  
月末には台風第10号の襲撃を受け  
て、暴風による住家被害、農業・  
漁業・商業施設の被害、市道や農  
道にも被害が発生するなど大きな  
台風被害が発生しました。改め  
て、自然災害の脅威を感じるとと  
もに、災害に強い国土づくりを一  
層進めることの重要性を再認識さ  
せられました。国は、国土強靱化  
への取り組みとして平成30年から  
の「国土強靱化のための3カ年緊急  
対策」に引き続き、令和3年から令  
和7年までの計画として「国土強靱  
化のための5カ年加速化対策」を取  
り組んでいます。今後、次の対  
策の策定が急がれるところです。

国政においては、岸田前首相が  
自民党総裁選挙不出馬を表明した  
9月以降、政局が激しく動きまし  
た。新たに自民党の総裁に就任、  
内閣総理大臣となった石破茂首相  
は就任後すぐに衆議院を解散し総  
選挙に打って出ましたが、自民、  
公明の与党は過半数を獲得できず  
少数与党となり不安定な政権運営  
を行っている現状です。大きな争  
点の一つとなった103万円の壁  
の問題など、国政の不安定な動き  
は地方自治にも少なからず影響を  
及ぼしており、市としてもそのよ  
うな国の情勢を見極めつつ、市民  
の暮らしを第一に、市政を前へ進  
めて行かなければなりません。

さて、令和7年は巳年です。蛇は  
古くから豊穡神・天候神として信仰  
の対象とされているようです。脱皮  
する蛇は「復活と再生」を連想させ、  
不老長寿、強い生命力につながる縁  
起のいい動物とも考えられているよ  
うです。この「復活と再生」というこ  
とから、ぜひ日本がデフレ経済前の  
経済成長を続けていた頃の力強い姿  
に復活することを願いたいと思いま  
すし、社会がああ頃のような豊かな  
状況に生まれ変わる、つまり再生す  
ることで、すべての市民の皆さんが  
笑顔であふれる一年になることを願  
いたいと思います。

昨年は「さつま黒潮きばらん海

枕崎港まつり」が5年ぶりの2日  
間開催、「市民運動会」も5年ぶり  
に開催されるなど、行事も元に戻  
ってきています。またリニューア  
ルオープンした枕崎お魚センター  
や夏に特別企画展を開催した南浜  
館には市内外から多くのお客様が  
来てくださいました。観光の人の  
動きも少しずつ戻ってきていま  
す。一方で人口減少・少子化、さ  
らに人手不足や後継者不足など生  
活、産業を取り巻く環境は厳しさ  
を増しています。そのような中で  
も、市民一人一人が前を向いて、  
家族のつながり、地域のつなが  
り、職場や学校のつながりを実感  
できる明るく楽しい社会をつくっ  
ていけるよう頑張っていきたいと  
思います。今年、市の将来にあ  
るべき姿を示すこととなる第7次  
枕崎市総合振興計画と地方創生を  
加速するための第3次枕崎市地方  
創生総合戦略を立案する年とな  
ります。枕崎の5年先、10年先を見  
据えた、市民の皆さんが希望を持  
てる将来像を構想し立案できるよ  
う、幅広くさまざまな知見を総動  
員して策定してまいります。

結びに、令和7年が市民の皆さ  
んの笑顔であふれる年になります  
よう、そして枕崎にとつていい一  
年になりますよう、心から祈念し  
て新年の挨拶いたします。